

かすみの森スラックライン専用パークで体験会 初心者でも楽しめるアクティビティ

2019年、かすみの森公園（上村）横に整備されたスラックラインパークでは、定期的に体験会（主催：（一社）日本スラックライン連盟愛媛支部）が行われています。インストラクターの堀内裕美子さんは「体幹が鍛えられ、日常生活やスポーツでも効果がある」と普及に意欲をみせます。ラインが張っていたら気軽に遊んでみましょう。



お正月を迎える準備 米作りの集大成 東谷小学校児童がしめ縄作りを体験

12月16日に東谷小学校で行われたしめ縄作りは今年で11年目。東谷小学校では地域住民の皆さんと一緒に米作りから児童に伝えています。児童たちは藁の縛り方などに苦戦していましたが、教わりながらしめ縄を完成させました。体験した児童は「難しかったけれど、来年は下の学年に教えてあげたい」と抱負を話しました。



27年続く伝統行事 横河原水天宮に東温高校美術部が絵馬奉納

12月30日、2022年の干支が描かれた絵馬を水天宮に奉納する行事が行われました。これは、1995年の阪神淡路大震災をきっかけに始めた取り組みです。水天宮には絵馬を制作した東温高校美術部や横河原地区の皆さんが集合。虎が竹林の中を威風堂々と歩く様子を描いた絵馬は縦2.5m、横2.7mの五角形。横河原区長の伊藤俊三郎さんは「伝統が地域に活気を生んでくれる」と喜びました。

Interview



東温高校 美術部 部長 浅野 彰太 さん（北方東）

力強い虎の立体感に満足

虎の毛並みや竹の節にある影など、細かな部分に力を込めて立体感を出しました。制作期間20日、最後の一週間は美術室に缶詰（笑）。伝統行事を後輩たちにつなげることができて嬉しく思います。



身近で楽しむ生のクラシック音楽 東温国際音楽の日記念コンサート開催

12月8日、東温国際音楽の日記念コンサート（主催：コンサート実行委員会）が中央公民館で開催されました。例年より2カ月遅れでの開催でしたが、感染対策で間隔を空けた中央公民館大ホールは約140人の来場者で満席。会場には演奏者による弦楽器の柔らかな音色が響きました。実行委員長の北條義樹さん（則之内西）は「若年層の入場が増え、来場者の皆さんからは生の音楽に触れることができた」と喜びました。



永年の人権擁護と普及に貢献 法務大臣表彰 石丸ひとみさん

石丸ひとみさん（志津川）は平成20年から人権擁護委員を務め、人権相談や人権啓発に尽力。男女共同参画委員にも所属しており、デートDV防止出前講座をはじめ、インターネットと人権に関する講演やLGBTに関する講座も実施しています。「相談者さんに『勇気をもらえた』と言ってもらえることが嬉しいです」と笑顔で話します。



来シーズンでJ2への昇格を誓う 愛媛FCが今季の応援に感謝

サッカーチーム愛媛FCの森谷賢太郎選手と山瀬功治選手が市役所を訪れ、今季の応援に対して感謝を伝えました。2人は東温市観光大使としてコート外でも市のPRにご尽力いただきました。契約満了により、残念ながら2人は愛媛FCを去りますが、これからもご活躍を応援しています。また来季も愛媛FCを応援しましょう。ガンバレ！愛媛FC！



書道部



演劇部



ダンス部

高校生たちの青春！ 東温フェスティバルで成果を披露

12月26日、坊っちゃん劇場で東温高校生徒による東温フェスティバルが開催されました。ステージ発表の前には生徒が「自分も楽しんでお客さんも楽しめるパフォーマンスがしたい」と意気込み、書

道部やダンス部などが日頃の成果を披露しました。展示ブースでは、手芸部や美術部などの作品が飾られました。保護者や在校生のほか市内中学生も来場し、高校生の発表に拍手を送りました。

勉学を志す経済苦の学生を支援 (株)愛橋 東温市奨学金基金に寄附

12月15日、株式会社愛橋様（代表取締役：二宮俊彦氏）へ、東温市奨学金基金への寄附に対する感謝状を贈呈しました。二宮代表取締役は「コロナ禍で大変な状況の中、会社として何か地域貢献ができないか考え寄附に至った」と話し、八木教育長は「勉学に励むお子さんのために大切に使用させていただきます」と感謝を述べました。



お口の健康をいつまでも 楽しい歯みがき教室でピカピカの歯

3歳を迎えるお子さんを対象に、総合保健福祉センターで開かれる歯みがき教室では、歯科衛生士による歯科診察やフッ化物塗布、個別相談を受けることができます。「歯医者に行くのは嫌がるけれど、いつも遊びに来る場所なので子どもが泣かずに受診できました」と保護者さん。幼い頃から歯を大切にする習慣を身に付けましょう。

独居高齢者への配食サービス再開 孤立感の解消や安否確認に一役

東温市社会福祉協議会では、ふれあい給食サービスを行っています。食生活改善推進協議会（会長：橋伊佐子さん）では2地区に分かれて調理を行っており、地区民生委員さんを通じて配達しています。健康にも気を使った味付けが自慢のお弁当。橋会長は「調理する私たちも毎回楽しみにしています。一緒にやりませんか？」と呼びかけました。



2年連続の快挙 穂田琉米がコンクールで金賞

第23回米・食味分析鑑定コンクール国際大会で坂本憲俊さん（河之内）の「穂田琉米（にこまる）」が国際総合部門で金賞を受賞しました。2年連続受賞は東温市初。坂本さんは「楽しく作るをモットーに米作りを続けてきました。味や風味を最高に仕上げるため試行錯誤をし、今後も美しい風景を持続するために米作りを続けていきたい」と話しました。



お正月の行事を地域で体験 放課後こどもひろばで餅つき開催

北吉井小学校に通う児童を対象に、放課後こどもひろばが開催されました（主催：生涯学習課）。子どもの居場所づくりや学習機会の提供のため、2月までの毎週月曜日に開催します。

第1回目の1月17日、横河原

ぶらっとHOMEに集まった子どもたちは、水天宮で餅つきや正月遊びを体験。愛媛大学生などが見守る中、蒸された市内産もち米を臼に入れ、杵を使って交代でお餅をつき、できたての味を楽しんでいました。

Interview



あさひ
 北吉井小学校2年 長田 旭 さん

重いきねと美味しいもち

みんなで交代しながら、きねでおもちをつきました。きねは重たかったけれど、頑張って持ち上げることができました。つくたてのおもちをみんなで食べることができて嬉しいです。



土谷の源太桜



河之内の紫陽花

年齢を感じさせない足取りで、草木や花の風景を前にシャッターを切る。
 柴田美佐子さんが写真を撮り始めたのは50年ほど前。今治市で暮らし、橋や海の景色を残したいと思いカメラを手にした。
 「当時はデジタルカメラがなかったのでフィルムカメラで撮影していました。十数年前に東温市に引っ越して、景色の良さに感動したのを覚えています。そのときしかない景色を写真に残したいと各地を巡りました。今はみんなの公共交通を考える会

86歳のカメラマン

柴田 美佐子さん (田窪)



に参加しています。路線バスでいろいろな場所に行くことができるので楽しいですね」
 過去には愛媛の森林林業写真コンクール（主催：（公財）愛媛の森林基金）で優秀賞を受賞した経歴もあるほどの腕前。テレビや新聞で、新緑や紅葉の情報を知ると、愛用のカメラを片手に現地へと足を運ぶ。
 「昔は槍ヶ岳も歩きました。年のせいと言葉は出にくくなりましたが、足だけは丈夫です。樹木や花、自然が好きだから、これからも生き生きとした風景を残したいです」



横河原の銀杏



田窪からの石鎚山

のぼさんの道を次世代に 小学生が地元の地域の歴史を学ぶ

東谷小学校の児童が永野集会所の句碑建立の発案者、高須賀康夫さんの功績を学びました。高須賀さんの著書「のぼさんの道」を引用して、子規や漱石が歩いた白猪の滝までの道のりを紹介すると、児童からは驚きの声が上がりました。子どもたちに地域の歴史を知ってもらいたい高須賀さんの思いは東谷小学校の児童へと受け継がれました。



地域振興に支援の手 愛媛信用金庫から寄附金

愛媛信用金庫から東温市に企業版ふるさと納税を活用した寄附金をいただき、1月13日に感謝状を贈呈しました。感謝状を受け取った八石玉秀理事長は「今後のまちづくりに役立ててほしい」と話しました。寄附金は舞台芸術の振興や交流人口の拡大などに取り組むアートヴィレッジとうおん創生事業に活用する予定です。



2年ぶりの快走に爽やかな汗が光る 第12回東温市民健康マラソン大会開催

12月19日、第12回東温市民健康マラソン大会（主催：生涯学習課）が開催され、親子連れやランナー174人がカテゴリーに分かれて重信川河川敷（田窪）を快走しました。当日は愛媛F C所属の内田

健太選手も一緒に走り大会を盛り上げてくれました。
 参加した子どもたちからは「しんどかったけど頑張って走った。来年は今年より上位でゴールしたい」と声が上がりました。